

## おもな内容

- ▶学校保健センター的事業の成果と活用
- ▶学校保健史ノート(4)
- ▶校長先生の訓話(9)
- ▶郷土岡山から故大西永次郎先生の生涯を語る
- ▶茨城県学校保健会の活動
- ▶春の叙勲
- ▶第25回全国学校保健研究大会要項
- ▶養護教諭のひろば(七)
- ▶昭和50年度学校保健講習会(歯科)開催要項

The School Health (No.108)

昭和50年8月1日発行

# 学校保健

(隔月発行)

発行 日本学校保健会

東俊郎

東京都港区芝西久保明舟

町20第18森ビル2号館8階

電話 (501)3785・0968

振替口座東京 98761

頒価 1部80円(送料共)

財団法人

日本学校保健会会報

## 学校保健センター的事業の成果と活用

本会が実施している学校保健センター的事業の諸活動のうち、出版刊行物についてとりあげ広く活用をのぞみたい。

昭和49年度には、次の4点が刊行されており、これらはいずれも次年度においても継続して、もしくは内容検討をされて刊行されてゆくものである。

### 学校保健の動向 (昭和49年度版)

A 5判 370頁

白書編纂委員会編

児童生徒のおかれた社会環境や生活条件が急激に変化する中で健康問題に関して多くの指摘がなされているが、関係者の早急な原因追求と対策、特に学校保健関係者の果している役割は大きい。

本書は、学校保健の全分野について関係者の協力と理解を得ることを主旨として刊行された。前年度版に加えて、各都道府県の学校保健活動の実態が入り、学校保健活動の全ぼうを理解する上で大へん適切なものとなった。

本書は都道府県教育委員会、市町村教育委員会および関係諸団体に配布された。全国の学校保健関係者が本書により相互の実情を理解し合い、相協力して学校保健活動を推進されることを期待している。

#### 〈主な内容〉

学校保健の背景と学校保健行政の現状と課題、児童生徒等の健康・安全の現状と課題、学校保健管理の現状と課題、学校保健教育の現状と課題、学校保健関係職員の現状と課題、学校保健関係団体等の活動、都道府県学校保健会等の活動、資料(体格および体力、疾病異常被患率、その他各種統計)

学校における肥満と「やせ」指導の実際 (昭和49年度版) A 5判 118頁 健康相談(肥満)委員会編  
肥満や「やせ」についての指導は、各地でいろいろな方法で実践され、それぞれ成果をあげている。一方では

そうした恵まれた学校以外に、多くの肥満や「やせ」の学童が、親や、学校、地域の無関心さのために放置されているのも事実である。この本は、そうした学校の対策として、少くともこの程度のことは学校としてもやれるであろうし、それによってできるだけ肥満や「やせ」を少なくしたいという現実的な願望にもとづいて作られたものである。

#### 〈主な内容〉

肥満と「やせ」の考え方、肥満と「やせ」の指導上の考え方、肥満と「やせ」指導の実際、指導事例(5例)

### ぜんそくの児童生徒の保健管理指針(試案)

(昭和49年度版) A 5判 68頁

健康相談(呼吸器疾患)委員会編

昭和48～49年度にわたり、ぜんそくをもつ児童生徒の学校における管理方法について調査研究してきた。その研究結果が本書であるが、地域や学校の実態、特性を考えると、これが学校でぜんそく児の保健管理を行うとき出会う全ての問題を網羅しているかどうか理論的又は一部実験的試みで、正しいと思われたことも全国的視野からみて適切でない点もあると考えられるので本年度は指針試案とし、50年度には関係各位の検討も加えた上で、指針として配布する予定。

### 日本学校保健会 学校保健センター的事業報告書

昭和49年度 B 5判 278頁 企画運営委員会編

学校保健センター的事業の業務は昭和49年度も昭和48年度と同様の機構で継続進展されたが本書はその年間活動報告書。第I部に8専門委員会の活動成果についての事業報告を全て収録し、第II部に資料委員会によって収集された学校保健に関する内外の文献の資料(書名、編著者、発行所名、発行年月日、定価、体裁、内容)。第III部は委員会構成委員名簿、研究協力校一覧、委員会開催一覧等が収録されている。



## 学校保健史ノート ( 4 )

## R. B. トイスラー

杉 浦 守 邦 (山形大学教授)

ルドルフ・ボリング・トイスラー (1876—1934) は東京中央区築地にある聖路加国際病院の初代院長であった。

彼がわが国の学校保健とどのような関係にあったか不思議に思われる方が多いかも知れないが、大正14年から約10年間にわたって、彼の発意と情熱によって実施されたスクールクリニック (文部省後援学校診療所と呼ばれた) と文部省学校看護婦派遣事業は、当時の学校衛生の興隆に寄与した功績は大きく、又戦前の学校保健の歴史上特異な事績で逸することのできないものである。

トイスラーは、アメリカ、ジョージア州の生れ、父はドイツ系のアメリカ人であった。リッチモンドにあるバージニア州立医科大学を卒業後、アメリカ聖公会のミッション・ドクターとして、明治33年 (1900) 1月来日した。まだ年令24才の青年であった。

彼の来日前一時間閉鎖されていた診療所を再会したが、最初は医師として彼一人、看護婦も荒木いよ一人であったという。しかし彼の熱心な経営と教会側の資金援助によって年々充実し、大正元年には4階建、70床を有する病院にまで発展した。彼は同時に、高い教養を具えた看護婦養成の必要性を認め、大正9年には聖路加高等看護婦学校を開設している。これは高等女学校卒を入学資格とし、修業年限3か年のわが国でも最初の高等養成機関であった。

さらに病院の増改築を計画中、大正12年9月の関東大震災により既存の建物の全てを焼失した。これに落胆することなく、ただちに彼は病院再建のため、アメリカ本国で強力な募金運動を開始した。

再建にあたって彼の計画したプランは、新しい病院を名実ともにメヂカルセンターとして、独自の機能を果たす施設に発達させようとするものであった。最高の医療を施すとともに、公衆衛生サービスを併せ行なう、いわば病院と保健所を併設した新構想のものだった。病院の一機構として公衆衛生部を設け、公衆衛生看護婦をおいて、健康相談および家庭訪問を中心とした公衆衛生看護婦をおいて、健康相談および家庭訪問した公衆衛生サービスを行なう計画であった。

仮病院落成とともにこの事業を開始しようとしたが、当時はまだ一般の理解が十分でなかったため、とりあえず学校衛生部門への進出をはかることとした。時の文部省学校衛生課長北豊吉は、クリスチャンでトイスラーと親交があり、又前年欧米を視察して学校看護婦制度や学校診療所の設置に意欲をもやしている時であったので、彼の申し出を喜んで受け入れた。

トイスラーが事業開始にあたって、アメリカ本国から呼びよせたのは次の5人である。メーベル・エリオット (医師、ラッシュ医大卒、小児保健専攻)、定方亀代 (医師、岡山県出身、アメリカ留学、ミシガン大

学小児科助教授)、クリスチヌ・ヌノ (保健婦)、鹿島直子 (看護婦、千葉県出身、アメリカ留学、ヘンリー・ストリート・セツルメントで実習中)、名出文子 (看護婦、大阪府出身、アメリカ留学、ニューヨーク4番街ヘルスセンターで実習中)。

大正14年9月より鹿島と名出の2人がまず文部省に派遣され、次いで文部省学校看護婦として小学校に駐在して、学校衛生の実務にあたることになった。

残り3人を中心として同年12月より、聖路加病院内にスクールクリニックが開設されたが、これはいわば学校身体検査後の精密検査と事後措置および健康相談を専門に実施する機関というべきものだった。

毎週月曜から金曜まで、午後2時より2時間、「既に学校医の身体検査に依り、要監察者と認めながら未だ何らの処置を施されなかった者で、然かも学校衛生上一定の治療を必要とし、保護者、学校長、学校医等の承認を経たる軽微慢性疾患」に限定して受け付けた。具体的には「貧血、腺病、栄養不良、脚気、佝僂病等の全身性疾患、耳疾、眼疾、鼻疾、視力障害、扁桃腺肥大、アデノイド、皮膚病、ヘルニア、う歯」などが取扱われた。聖路加病院の各診療科の医師、看護婦がこれに協力したが、トイスラーはこのために今まで無かった眼科・歯科をも新たに設置するという熱の入れようであった。当時国内には珍らしいX線・心電図などの器械も駆使され、全て無料で精検と予防処置がなされるだけでなく、要訪問者や長欠児に対しては保健婦の家庭訪問も実施された。

文部省学校看護婦の方もさらに1名増員されて、これが文部省学校衛生課に勤務し、全国の学校看護婦の指導、学校看護婦講習会の企画運営、学校看護婦大会の開催、学校看護婦対象の専門雑誌「養護」の編集発行などを担当し、戦前における学校看護婦指導体制の最も充実した時代を現出した。

しかしこれらの事業も、トイスラーの死によって間もなく廃止 (ただスクールクリニックは昭和10年4月新設された東京市特別衛生地区保健館に引き継がれた) されたのは残念である。彼の死去したのは昭和9年8月10日、前年彼の努力で完成した6階建病院の一室で、冠動脈血栓症のためたおれた。享年58才。最後の言葉は "Let the work go on!"

## 参 考 文 献

- 中村徳吉：ルドルフ・ボリング・トイスラー小伝，聖路加国際病院，昭43.2  
50年史編集委員会：聖路加看護大学50年史，聖路加看護大学，昭和45.10  
文部省学校衛生課：学校診療所に就いて附文部省後援診療所，日本学校衛生14—1，q. 113—117，大15.2 p  
杉浦守邦：養護訓導前史(16)，健康教室23—11，p. 43—49，昭和47.10



校長先生の訓話(9)

# 体の健康・心の健康

山口県徳山市立徳山小学校長  
手島倫典

お早うございます。

学校では、二時間目の終わりの健康時間に、望遠訓練をしています。合図があったら、どこにいてもきちんとした姿勢で、遠方の目じるしを見ます。私は、きのう、たいへん感心な一年生を見かけました。その男の子は、お便所から出るとき望遠の合図のレコードが鳴ったのでしょ。う。手洗いの前に一人で立って、じつと遠方を見ていました。みんなは運動場にいましたから、だれもその男の子のしたことを知らないでしょうが、通りかかった私は、その一年生のまじめさに感心してしまいました。

言われるからしかたなしに見るというのではなく、自分でやる気でやっていることは、その立派な姿勢を見ればわかります。一分。二分。びくともしないで立っているのです。(立派なものだなあ)と思ったのです。

これは三年生のAくんのことです。学校では、どんな寒い日でも、みなさんが裸で乾布摩擦をしていますね。ときには怠けたいこともあろうと思いますが、みんなよくやっているの、街の人も驚いていらっしゃいますが、Aくんをほめてあげたいのは、いつもまっ先にシャツを脱いでいることです。肩をすぼめ、背中を曲げて、しゅしゅシャツを脱ぐのは、たいていの人のしていることなのですが、Aくんはちがいます。乾布摩擦の合図があると、勢いよくパッとシャツを脱ぎます。そしてさっさと腕や背中をこすります。Aくんも、いやいやにやっているのではなくて、自分で体を鍛えようと決心しているからにちがいありません。

いま、一年生の男の子と、三年生のAくんのお話をしましたが、この二人だけではありません。まだまだ多くの感心な人がいます。それは、月末の表彰朝会でみなさんがよく知っているとおりで。

このあいだこんなことがありました。

年をとったおばあさんが校長室にこられたのです。お年寄りが来られるということはめったにありませんので、私もびっくりしましたが、こんなことをおっしゃ

## 文部省体育局学校保健課の異動

教科調査官に岡本麟太郎氏

昭和43年4月から学校保健課教科調査官として、また昭和50年1月からは、文部省体育官として、本会が7年有余の間、指導を受けた能美光房氏は、このたび厚生省医務局歯科衛生課長に栄転、教科調査官に岡本麟太郎氏(前厚生省大臣官房国際課・課長補佐)が着任。(8月2日付)

### ◇新任◇

体育局学校保健課 専門職員に伊勢呂 裕史氏(前文化庁文化財保護部記念物課)が着任。

(7月1日付)

ったのです。

『このあいだ学校の前を通っていたら、大きなボールが目の前に転んできました。みると、道路と学校の境にあるブロックの塀の上に、こどもの頭がたくさんのぞいているではありませんか。私は、やっどこでボールをそのこども達の方へ投げ返しました。そのときこども達が言ったのです。おばあさんありがとう。おばあさんありがとう。声を揃えて降ってくるその明るい声を聞いて、私はもう、はずかしいほどうれしくなりました。校長先生、わたしはこんなにうれしく思ったことはありません。これは、わずかなわたしのこづかいじゃが、学校のために使ってください。』

何年生か知りませんが、おばあさんへの感謝のことが、こんなにも一人のおばあさんを感激させてしまったのです。

「ありがとう」「すみません」「こんにちは」こんなことが、明かるく自然に言えるということは、その人がやさしい人であるということだと思ひます。心がやさしい人であるということだと思ひます。心がやさしいということは、心が健康であることだと思ひます。おばあさんは、正直で素直でやさしいみなさんの心に感激されたのです。お年寄りをいたわるといふやさしい心、つまり、みなさんの心は、たいへん健康であるのです。

はじめに、健康時間や体力づくりについて、熱心なお友達のお話をいたしました。終わりに、やさしい心のお話をいたしました。体の健康、心の健康のお話をしたのです。

みなさん、しっかりがんばってください。

体力をつけ健康を保つ **カワイ** のビタミンAD剤

# カワイ肝油ドロップ

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位  
          ビタミンD<sub>2</sub> 200国際単位

# カワイカンエドロップM

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位  
          ビタミンD<sub>2</sub> 200国際単位  
          リン酸水素カルシウム 65mg



河合製薬株式会社 東京都中野区新井2丁目51-8



# 郷土岡山から故大西永次郎先生の生涯を語る



学校保健にその生涯をかけられた大西永次郎先生が、去る3月8日に逝去されました。

先生は、明治42年10月、岡山医学専門学校卒業後、同衛生細菌学教室に勤務され、その後、岐阜、群馬、広島各県の学校衛生主事として学校衛生に関する指導、監督にあたられました。引続き、学校衛生主事としての手腕が高く評価され、大正13年4月から文部省学校衛生官に就任されました。

文部省在任中は学校衛生課教授生掛長、医務掛長、学校衛生掛長として児童生徒の疾病対策をはじめ学校衛生関係職員の制度化に取組まれ、衛生教育の向上と近代化に顕著な実績を残されました。

特に、当時学校における身体虚弱児童の増加が目立ち、健康の維持増加が社会的な問題となったとき、児童の健康増進の一助となることを目途とし昭和5年「全日本健康優良児童表彰審査会」の設置を主唱されたのも先生のご発想であったと聞いております。現在なおこの制度は引継がれておるのであります。

昭和26年4月には、先生の資性温厚にして情宜に厚い高邁な人格は、多くの関係者の信望を得るところとなり岡山市議員に当選され、卓越した識見をもって市政の審議に参画され縦横の活躍をされ多くの功績を

残されました。

また、こうした激務の中にあつて昭和26年11月には岡山県学校保健協会の設立に熱意を燃やされ、県下学校保健関係者の総意を多年に亘る学校保健行政の経験と豊富な識見によりまとめられ、初代会長として17年間協会の運営にあたられ本県学校保健進展の基礎をつくられるとともにその隆盛発展のために多大な功績をあげられました。

さらに、その高邁な人格とあわせて多年に亘り精進された卓越した専門的識見は、教育者としても適任性が高く評価され、昭和21年4月には岡山県師範学校講師に、昭和27年4月には作陽短期大学教授に、昭和33年4月には、岡山女子短期大学教授にそれぞれ招聘され、高等教育に直接携われ、多くの人材育成に努められました。

こうした数多くの要職を兼ねられる中であつて、先生は常に学校医の職責の重要性を説かれ、岡山県立朝日高等学校および岡山県立鳥城高等学校の学校医として誠心誠意逝去の直前にいたるまで身をもってそのあり方を示されました。

先生の58年間の永きに亘って携われた学校保健に関する業績は、枚挙にいとまないものがあり十分意を尽くしません。先生のご功績をたたえながら終らせて頂きます。  
(岡山県学校保健協会事務局)

## 学校における

## 肥満と「やせ」指導の実際

—昭和49年度版—

財団法人 日本学校保健会 編

学童の肥満と「やせ」の指導は、家庭や地域との協力のもとに、学校をあげてとり組む仕事なのである。この書は、色々の事情で見落されている肥満と「やせ」に対して、少なくともこの程度のこととしてはやりたいという現実的な願望にもとづいて作成されたものなのである。

★A5判・118頁 実費340円(〒共)

お申込は 9月30日(火)までにハガキで本会事務局迄

## ● 女子生理教育用カラーズライド

日本学校保健会監修  
カラーオートスライド (66カット・15分、録音テープ、台本、マニュアルつき)

「いつものあなたでいるために」

—月経の知識と正しい手当—

■内容  
月経の仕組みとはたらきを中心に、月経時についての考え方や生活管理の方法をわかりやすくまとめてあります。

■定価 9,500円

無料でもお貸しいたします。  
お申込みまた、使用上の詳細については、下記へ、お問合せ下さい。

東京都港区高輪3-25-23  
ユニ・チャーム株式会社  
TEL 03 (449) 1555(代)



保健会だより—(7)

## 茨城県学校保健会の活動

本県学校保健会は、昭和24年発足、(県下学校保健関係者を以て組織(小・中・高等学校780校、92市町村教育委員会保健事務担当者等)し、学校保健の研究普及、発展に努めている。

### 1 組織

- (1) 役職員～会長(齊藤良三)、副会長(5)、評議員(64)、理事(32)、常任理事(18)、専任職員(1)、事務局員(6)……県教委・保健係職員兼務。
- (2) 構成～27支部(郡市別)、7部会(校長・学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保健主事、養護教諭、市町村教委保健事務担当者部会)、3委員会(研究調査委員会、医薬品資材審査委員会、褒賞選考委員会)をおく。

### 2 予算(昭和50年度)概況

(1) 歳入総額	3,660,849円	
内訳	会費	2,778,900円
補助金	150,000円	
受託事業費	600,000円	
その他	131,949円	
(2) 主なる歳出	会議・事務費	602,000円
事業費	2,878,000円	
その他	180,849円	

### 3 主なる事業

- (1) 研究調査校の委嘱(県教委と共催)  
研究期間を3年として小・中・高校に(5校)研究委嘱し、本県教育目標をふまえた学校保健安全の研究実践を進めている。
- (2) 学校保健の手引の発刊  
昭和40年度に第1集(保健習慣の形成)を発刊以来第10集(児童生徒の疾病異常の実態)を数えている。
- (3) 学校保健会報の発行  
現在すでに第19巻を重ねている。(各巻2号)
- (4) 研究調査委員会の活動
  - ア 昭和48・49年度は、健康診断の手順と実施要項の研究を進める。
  - イ 本年度は、健康診断時の学校医手引作成及び

児童生徒の肥満・るいそう児の研究並びに保健センター設立についての基礎調査にとりくむ。

- (5) 部会(前記7部会)活動の事業助成を行いそれぞれの研修活動の推進を図っている。
- (6) 健康手帳(茨城県版)の発刊  
新しい健康診断の趣旨に沿って内容を改訂し、総合的に自己の健康状態を把握し活用されるようその促進を図っている。
- (7) 学校保健・安全研究協議大会の開催  
会を重ねること既に23回、前年度は関係者650人の参加により、シンポジウム(健康診断の円滑化と学校事故災害の防止について)と講演会(突然死と学校における心臓検診)を主たる内容とした大会を開催した。
- (8) 学校保健功労者の表彰  
学校保健功労者ほう賞選考委員会を設け、毎年度広く県内関係者の中から功労者を選考し表彰を行っている。
- (9) 研修活動の充実
 

ア 保健主事研修会	オ 健康優良学校の育成と表彰
イ 養護教諭研修会	カ 健康優良児童の表彰
ウ 校医等の研修会	キ よい歯の学校の表彰
エ 養護教員未配当校衛生主任研修会	ク その他

### 4 今後の課題

組織の拡大と活動の強化については第1に私立高校・公私立幼稚園の全校加入促進をはかること、第2に支部・部会の自主的積極的活動を助成すること、第3に本部諸機関の組織を検討してより効率的運営を図るなど当面する課題をもっている。

また、児童生徒教職員の健康管理の徹底についても、地域において格差があり、とくに法の改正による健康診断の完全実施を進めようとする場合、医療検査機関の関係で幾多問題をかかえている。今後県医師会・県当局等との協力態勢のもとに総合保健センター設立への方向で努力中である。

**学童の集団検尿には  
潜血検査も**

製造元: エームス事業部 販売元: 三共株式会社  
マイルス・三共株式会社

**肉体疲労時の栄養補給  
滋養強壮に**

**ポポンS錠**

シオノギ製薬



# 祝・春の叙勲の荣誉に輝く学校保健功劳者

勲 六等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 五等	勲 四等		
養護教諭	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	瑞学宝校	旭学宝校	旭学宝校	旭学宝校	瑞学宝校	
	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	章医	
	安田むつ子	橋本幸四郎	橋本光次	犬尾貞治	石崎憲吾	中村重孝	池田昇	大久保盛次	市岡五郎	栗山善治	佐野健三	山田猶吉	鳴神輝	原瀬廣司	関根末吉	清村軍時	山際源二郎	彌重正己	横山正人	可児一郎	細部新一郎
	72才	71才	73才	73才	76才	77才	83才	84才	87才	75才	78才	78才	80才	81才	83才	71才	72才	72才	80才	71才	73才
	(愛知県)	(徳島県)	(和歌山県)	(長崎県)	(富山県)	(広島県)	(岡山県)	(埼玉県)	(山口県)	(長野県)	(千葉県)	(千葉県)	(東京都)	(愛媛県)	(埼玉県)	(兵庫県)	(三重県)	(島根県)	(山形県)	(大阪府)	(大阪府)

本会はお祝いとして、所属学校保健会長をとおして銀杯を贈った。

## 第25回 全国学校保健研究大会要項

### 1. 趣 旨

学校保健及び学校安全の当面する諸問題について研究協議を行い、明るく、たくましく、現代を生きる健康人をめざし、健康で安全な生活を自主的に実践する児童・生徒の育成を期する。

### 2. 標 題

心身の健康づくりや健康的な環境づくりを、積極的に実践できる児童・生徒の育成をめざして。

### 3. 標題設定の理由

学校保健は長い間にわたり、児童・生徒の健康の保持増進と学校教育の円滑な推進に大きな役割りを果たしてきた。しかし近年、科学技術の急速な進歩と経済社会の進展は、国民生活の向上をもたらした反面、生活環境の悪化をきたし、疾病傾向の変化や公害の発生及び交通事故の増大等、児童・生徒の健康上多くの問題を生じてきている。

このような現状をふまえ、さらに将来を展望して、今後の学校保健・安校安全のあり方を検討する必要がある。 学

そのため、過去の研究大会の成果を基盤に、創造性と実践力のある自主的健康人の育成をめざして、当面する課題の解決を図ろうとするものである。

### 4. 期 日

昭和50年11月7日(金)、8日(土)、9日(日)、10日(月)

### 5. 開催地 浦和市

### 6. 日 程 (別表・右表)

### 7. 参加者の範囲

- (1) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校の校長・教頭  
保健主事、養護教諭及び一般教員
- (2) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師
- (3) 教育委員会の学校保健、学校保健関係ならびに

### P T A

(4) その他、都道府県、指定都市教育委員会において適当と認められたもの。

### 8. 大会事務局

埼玉県浦和市高砂3丁目15番1号 埼玉県教育局保健課内 第25回全国学校保健研究大会埼玉県実行委員会事務局 電話0488(24)2111 (内線5061・5062) 直通0488(22)3622

### 日 程 表

	9	9:45	10	11	12	13	14	15	16	17
11月7日 (金)	受付		日本学校保健会 評議員会			受付	職 域 別 会 合		大会運営説明会	
11月8日 (土)	受付	開会式 表彰式	記念講演	昼食 アトラク ション			全体シンポジウム		領域別班別打合せ	都道府県 指定都市 学校保健 会 全 会
11月9日 (日)	受付	領域別 講演	班 別 研 究 協 議						閉会式	
11月10日 (月)	受付	学 校 視 察								

### 7 頁 養護教諭のひろば

養護教員の全国組織に思う つづき

養護教員としての職責は分野は広く、潜在する難問は多くて求明するに当り固執せず、郡市から県へさらに全国の方々と共通の立場で話し合えることこそ、執務内容の充実化から養護教員のあるべき姿を示し、将来の確立性を深める大事な要素となし得ると考える。

この大きなまとまりは、自分の力で、自分たちのためにつくるのだという自覚と認識を深め、時期をのがさず結束していただきたいと願ってやまない。



養護教諭のひろば一(七)

## 養護教員の全国組織に思う

秋田県学校保健会養護教員部会  
 部長 戸 沢 光 枝

6年前の話であるが、私の姪がさる都市の養護教諭養成課程で教生として指導を受けるため秋田県を希望したところ、指導者が「秋田県の学校保健に対する認識は非常に低いため養護教諭本来の勤務がなされている地域は少ないといわれている。その秋田県に教生として行き、はたして良い実習ができるだろうか」と別の県での実習をすすめられたと聴かされた。

どのような経緯から伝えられた話なのか、一方的にうのみにして話をされた大学の先生のことばを心の端で非難はしたものの、私個人として勤務態勢から反省の余地充分と慰めはしたが、暫くの間重なる思いが胸中を去来していた。

弁解ではないが、全国学校保健大会を契機として秋田県の学校保健推進機構、指導体制は他県に優るとも劣らぬと自負している。但し、運営に当る学校、地域の取りくみ方による差異はあろうが、然しこれはひとり秋田県だけの問題ではないと思う。この推進、指導、運営を養護教員が日常現場の執務の中でどのように実践に反映させていくかが、各々の養護教員に課せられた問題であると受け止め、努力を傾けている。

秋田県の養護教員の研究団体は結成以来27年の歳月を経てきており、発足当時から引き継がれた先輩諸姉の足跡は大きく、これに対しての支援を惜しまない学校保健会、設置者、各種研究団体の理解度も高い。

ただ、残念ながら個々に見つめた時、専門職という立場で勤務する執務内容に疑義、悩みが伴わない訳ではない。永い歴史の中でこれらの悩みの解消にこの研究団体が果して来た役割とその成果は衆知の通りである。

この研究団体は県内に勤務する養護教諭、養護職員で組織され、学校保健会養護教員部会という名称になっている。この他養護の地位の向上、身分保障のためには全国組織につながりをもつ日教組秋教組支部養護部会がある。この二つの会は性格、目的が違うので、

一本化は無理であるが、会員は同じ養護教諭であるということから、会の責任者同志がその意を解し、組織問題など混乱をおこさぬよう努力し、話し合いも充分なされている。

結局、会を運営する立場にあって考慮すべきことは、会の目的に沿って養護教員が執務し易い条件整備を図ることにある。自分たちの主義主張のために利用する、その間の勢力争いの感情的もつれなど厳として慎しみ、謙虚な姿勢であることが望ましいと思っている。

以上秋田県の立場としてのべてきたが、こゝで全国組織に視野を向け、全国諸姉に訴えたい。

昭和32年千葉県において、日本学校保健会養護教員部会が発足、41年群馬大会で「規約の姿勢を正せ」との要望から発端し、この会は規約上に無いとされて以来、自分たちの唯一の全国組織であると信じ、事実上は活動している会があるにもかかわらず、規約上存在しないことになった。執行部では現存の結び付きをそのまま待つことに努力されたというが、諸々の角度からの理解と判断による思考が余りにも多すぎて、10年余を経た現在、いまだに釈然としない組織問題が流れているのである。

研究とは全国的なまとまりが無くともできるという考え方こそ視野が狭く、全国組織は政治闘争によってこそ、その必要性が認められると解釈するのも思慮がなさすぎる。

現在結成されている全国組織には二つあり、いずれも自分たちが全国組織の基盤であるという考え方に立っておられるようであるが、有識者たる先輩諸姉の混迷する態度に、地方では理解に苦しんでいる。

全国的な研究団体は純粹の型で一本化として、各県の研究団体が、そのまま全員加入できる組織としての誕生を願うものである。役職にある方々は現状への理解と納得への態度の披瀝により、代表者同志が建設的な立場に立つて話し合う姿勢を示し、一日も早く解決して欲しいものである。

勿論、各県の意見聴取も充分に行なうことは必定。だが、現場の実情から純粹な研究団体と身分問題にとりくむ日教組養護部会の異質の組織が、お互いの欠陥を補ぎない合い、現場で希望をもって日々の執務に精進できるような体制づくりを心掛けて欲しいと望むことしきりである。

秋田県の場合、県内の組織づくりが、スムーズに運営されているにもかかわらず、全国統一された会が有名無実の感で、全国の同僚との執務の深まりを求め合える場がもたれないことを常々心寂しく思っている。

(6頁右下へつづく)

明治・大正・昭和の学校保健をかえりみて――

# 学校保健百年史

文部省監修 日本学校保健会編集

A5・約800頁・上製本函入・価1,800円 郵送料200円

明治5年に学制が発布されて以来、今日まで百年を経過した。この間わが国の学校保健の姿は、さまざまな変化伸展をみせ明治・大正・昭和の各時代における関係者の不断的努力によって大きく改善されてきた足跡を集大成し、本書にとどめ得たことは真に意義深くかつ、貴重な資料書としても高く評価されるものであ

ります。

学校保健百年を記念して刊行された本書について、購入希望があります場合は、代金に送料を添えて日本学校保健会「学校保健百年史」係あてにお申し込み下さるか、または、直接発行所あてにお申し込み下されば着金次第納本の手配をいたします。

なお、本書は残部僅少となっておりますので、お早目にお申し込み下さい。

発行所

第一法規出版株式会社

<107> 東京都港区南青山2-1-17  
 電話(03)404-2251 振替 東京7739



# 昭和50年度学校保健講習会 (歯科)開催要項

- 趣旨 学校保健における歯に関する指導の重要性にかんがみ、校長、保健主事、養護教諭、一般教員及び学校歯科医に対し、歯科保健について必要な研修を行い、もって学校保健の向上を図る。
- 主催 文部省、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、日本学校歯科医会、愛知県歯科医師会
- 期日 昭和50年9月16日(火)～17日(水)
- 場所 愛知県歯科医師会館  
名古屋市中区丸の内3丁目5番1号  
TEL 052-962-9101
- 日程 (別表)
- 対象 (1)国、公、私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特殊教育諸学校の校長、保健主事、養護教諭、一般教員で都道府県内において学校保健の指導的役割を果たすもののうち、教育委員会が推薦する者。  
(2)国、公、私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特殊教育諸学校の学校歯科医で教育委員会が推薦する者。  
(3)上記(1)、(2)を合わせて1都道府県当たり10名以内、ただし、特別区及び指定都市を含む都道府県は20名以内とする。  
(4)都道府県及び指定都市教育委員会の関係職員1名。

## 7. 講義

- 学校保健の動向  
文部省体育局学校保健課長 倉地 克次
- 学校における歯科保健活動

- 文部省体育局体育官 能美 光房
- 歯科疾患の予防  
日本大学 教授 森本 基
- 児童生徒における歯科疾患の現状  
日本歯科大学 教授 坪根 哲郎
- 学級指導における歯科保健のとりあげ方  
日本大学 教授 山田 茂
- 学校歯科保健における評価の実際  
愛知学院大学 教授 榊原 悠紀田郎
- 研究協議 研究協議は、次のテーマについてシンポジウム形式で行う。  
(1)主題 学校における歯科保健活動を効果的に進めるには、どうしたらよいか。  
ア. 小学校における歯科保健活動の進め方  
イ. 中学校における歯科保健活動の進め方  
ウ. へき地学校における歯科保健活動の進め方  
(2)発表者 発表者は、校長、保健主事、養護教諭、一般教員、学校歯科医、教育委員会の代表者で主催者において依頼した者。  
(3)指導助言者 文部省と日本学校歯科医会の講師がこれに当る。
- 参加申込み (1)各都道府県教育委員会(国、私立学校を含む)は、別途通知される愛知県教育委員会からの通知により申し込むこと。  
(2)附属学校を置く国立大学長及び都道府県知事は参加者の氏名、職名(学校名)を愛知県教育委員会通知の申込期限の10日前までに所在地の都道府県教育委員会に報告すること。

	9:30	10:00	10:20	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:30
第一日	受付	開会式	(1)	(2)	昼	研究協議 (シンポジウム)			
第二日		(3)	(4)	食	(5)	(6)	閉会式		

(1)～(6)は講義

歯ブラシはお口のサイズに合ったものをお選びください **バネットライオン ジュニア**

100円

ライオン歯磨株式会社

偏食児の栄養補給、虚弱体質に

**パンビタンペレ**  
**パンビタンペレ** チョコレート



幼小児の発育期・病中病後・発熱性消耗性疾患・食欲不振・栄養障害などの栄養補給、滋養強壮に。